

(件名) トマリ日本文化祭への参加について

報告者：主査 得能 淳一郎

10月15日にサハリン州トマリ市において、在ユジノサハリンスク日本国総領事館とトマリ市の共催によるトマリ日本文化祭が開催されました。

文化祭開催にあたり、主催者から当事務所へトマリ市の姉妹都市である天塩町の出展を打診されたことから、道から天塩町へ参加を呼びかけ天塩町の展示コーナーを設置することとなりました。

出展品の選定には「はし置きのような小物はロシアにあるか?」、「俳句・短歌のよさはロシア人に伝わるか?」など、天塩町、道、在ユジノサハリンスク総領事館で意見交換を行い、町民の手作りによる陶芸品や風景写真など約200点もの作品を展示することとなりました。

文化祭の開会式では、当事務所長が祝辞を述べるとともに天塩町長からのビデオメッセージが披露されました。トマリ市のマンジャラ市長は「25年前、高校生の時に天塩町へ訪問したことを思い出している。心から感謝する。」と感謝の意を述べられていました。

今後ともサハリン州政府をはじめ、在ユジノサハリンスク総領事館などの現地機関と連携をはかりながら、本道とロシアとの地域間交流の促進に努めてまいります。

開会式での事務所長祝辞



天塩町展示会の様子①



天塩町展示会の様子②



(件名) 極東輸出フォーラム(主催:ハバロフスク地方政府)への参加について 報告者：主査 柳田 裕貴

標記のイベントが10月28～29日、ハバロフスク地方ハバロフスク市で開催されました。

第1日目は観光分野の分科会に当事務所長が参加し、「北海道からロシア極東地域へ観光客をいかに呼び込むか」というテーマのもと、プレゼン・提言を行いました。

第2日目はオンライン商談会が行われ、北海道から2社が参加。木材加工や水産、養蜂などの分野のロシア企業とのビジネスマッチングが行われました。

コロナ禍で観光業界が大きな打撃を受けたのは、ロシアも日本も同じです。従来、ロシアを訪れる日本人旅行者は、海外渡航者の約0.5%と、人気の旅行先とは言えないのが現状でした。ロシア極東地域は日本から飛行機で2～3時間程度と近く、ヨーロッパの洗練された歴史や文化、美しい街並みのある地域です。

またロシアの方々は思いのほか親日的で、ロシア国民の7割以上が日本人に好印象を持っているとの統計があるほどです。ソ連崩壊以後、治安が悪化した時期もありましたが、現在は犯罪件数も減少傾向にあり、ロシア極東地域は、日本人に人気の旅行先となる可能性を秘めています。

当事務所は、観光業に携わる日露両国の皆様をサポートしていきます。

極東輸出フォーラムの会場



事務所長のプレゼン



「北海道からの観光誘致について」

